

カンボジア
中央カルダモン森林保全プロジェクト
現地からのお便り（2019年7月～2020年6月）

2020年8月
コンサベーション・インターナショナル



カルダモン山地の風景© Conservation International/photo by David Emmett

パトロールと違法行為への対応

カンボジアでは地方分権化が進み、中央カルダモン山地国立公園の管理が環境省から州の環境局へ移管されることになりました。この移管に伴い、環境省をサポートして中央カルダモン山地国立公園の管理体制の編成に取り組みました。また、中央カルダモン山地をカバーする3州に点在する6つのレンジャーステーションを対象に在庫調査を実施し、今後環境局のレンジャー30名が効果的に森林パトロールを実施するために必要な備品の補充を行いました（ハンモック、GPS一式、ブーツ、救急用具、ヘルメットなど）。

パトロールは2020年1月から6月にかけて計330回実施され、その移動距離は17,175kmに及びました。パトロールの結果、違法取引業者5名の逮捕、チェーンソー56台、銃9丁の押収、複数の密猟および違法伐採拠点を破壊、違法取引に用いられる製材機2機の取り壊しを行いました。こうした違法行為への対応は着実に実りを結び、森林減少率は2018年の0.17%から、2019年には0.11%まで減少しました。国全体の5年間の平均森林減少率が2.9%/年であることを考えると、はるかに低い水準であると言えます。



森林パトロール中のレンジャーたち
© Cambodian Ministry of Environment



違法取引に用いられる製材機を焼却
© Cambodian Ministry of Environment



押収されたチェーンソーと密猟道具（左下、右下） © Cambodian Ministry of Environment



持続可能な生計手段

過去の活動では、コミュニティの農家が有機野菜市場やレモングラスオイル市場へアクセスし、商品を出荷できるよう支援してきました。その後取り引きは続き、現在ではCIのサポートがなくても農家はこれらの市場へ出荷できるようになっています。

昨年8月から今年1月にかけては、林野庁の事業の一環で公益財団法人国際緑化推進センター（JIFPRO）と連携して、Tatay Leu コミューンにおいてチョウ類飼育販売事業のパイロット飼育を実施しました。チョウ類飼育販売事業は農村における新たな収入源としてだけでなく、森林保全に貢献する事業としても期待されています。パイロット飼育では5名の農家が研修を受けました。現在はそのうち1名がチョウの飼育を継続し、毎月蛹を販売して収入を得ています。今年7月からはJIFPROの活動が再開し、これから新たに数名の農家が活動に参加する予定です。



チョウの飼育小屋 © Bantei Srey Butterfly Centre



チョウ飼育農家への研修の様子 © Bantei Srey Butterfly Centre

トラストファンド

2019 年 12 月に中央カルダモン山地国立公園トラストファンドの理事会が開催され、違法行為への対策費として 18 万ドル引き出すことが決定しました。この資金は 2020 年 1 月から 12 月までの取り締まり活動に使われる予定です。

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。